

# 形トハートに幸福駅 モニュメント登場



幸福駅に設置工事中のハート形モニュメント。現在は青色の保護シートで覆われている

設置場所は幸福駅駐車場南側の市有地。既に3月下旬から設置工事に入り、モニュメントは設置済み。現在は青色の保護シートで覆われているが、26日の寄贈式(午後0時半から)では銀色の姿を現す。

帯広平原ライオンズクラブ(青田満男会長、会員36人)は、帯広市内の旧国鉄広尾線幸福駅にハート形のモニュメントを設置した。

同クラブが6月に創立50周年を迎えるのに合わせ、地域貢献を目的に取り組んだ。今月26日に開かれる今年度第1回の幸福駅ハッピーセレモニーに合わせて披露し、市に寄贈する。

同クラブは記念事業を検討する中で、「地域に長く役立つものを贈りたい」と昨年駅舎を改築した同駅に着目。モニュメント設置を

担当した所輝雄計画委員長(大栄電設代表)は「幸福駅は帯広を代表する観光資源。観光の盛り上げに役立つば」と話す。

モニュメントは高さ3・6m、幅4・4m。「恋人の聖地」らしいハート形で表現した。円形の基礎部分は御影石を使用し、中心には日時計を設置する。上部には同駅のシンボルである鐘を取り付けた。事業費約300万円。